

チューリップテレビ・メディアリテラシー活動

第3回ワークショップ

2008年7月19日（土）13時30分～17時 富山大学キャンパス

飛び出せキャンパス！大学をレポート

3回目のワークショップは、富山市内にある富山大学キャンパスで実施しました。

今回は高校生のテンションをあげるため、予定のメニューを変更し『キャンパスに飛び出せ！』と、ハンディカムを使って撮影、編集することにしました。お題は「富山大学の紹介ビデオを作る」受験生がこの大学に入りたいと思うようなことを見つけて紹介します。

チームはあみだくじで3人1チーム、3つに組わけしました。各チームには相談役として、大学生スタッフ（お兄さん1人と美人のお姉さん2人）を一人ずつ配置することにし、これもあみだくじで。ここはみんなドキドキであみだの行方に熱い視線が…

事前にレクしたのは「ハンディカムはこのボタンを押せば映ります」ということのみ。紹介の方式はレポート形式でも、ドラマ形式でも自由、1分以内にまとめること。前回のワークショップを思い出し思いっきり「主観」で作ってくださいという指令のもとキャンパスに飛び出していきました。大学生協の弁当を食べて腹が満たされたこともあってか、やる気満々、ここまでは思惑通りです。



高校生の順応力と発想力に驚き

メンバー同士で話し合おうこと、決めること、決められた時間で伝えること、そのプロセスと難しさを実体験してもらおうという狙いで、あまり説明をせずに外に放ちました。

カメラも、編集もほとんどが初めてという生徒だったのですが、レポート役

や撮影役、編集役を決めて実行するチームや役割を交代でつとめ、一人一人が大学の印象をレポートするチーム、また、キャンパスでのインタビュー構成にするチームなど、それぞれ伝える手法を話し合いで決めていました。大学生が一人ずつ同行したことは、行き詰まった際に助け舟が出る格好となり良かったと思います。

パソコン編集は、機械に順応する力に驚きました。ファイナルカットを使ったのですが、「取り込んで」「並べる」「いないところを削除する」こんな簡単なレクだけでしたが、あとはどのチームも面白がってやりきりました。写真は一番納品の女子チーム。「潜入調査！イン富山大学」というタイトルをつけたもので、レポートの NG シーンも入れるなどなかなか面白いビデオでした。やはり、撮ったり編集したりと、外で体を動かすことが好きなんですね。



おじさんチームも奮闘するが…

特別チームとして、局、先生、住民ディレクターチームも特別参戦しました。構成：服部、出演：田原先生（福野高校）、島田（チューリップテレビ）、青木（住民ディレクター）、編集：島田という豪華スタッフでした。3人の出演者を、織田裕二、アントキノ猪木、エド晴美にしたパロディ風の大学紹介にしました。服部が即席、鉛筆で絵コンテを紙に書きなぐり撮影、編集したのですが、試写会では狙ったところが受けずがっかり…世代と笑いのツボの違いを思い知らされました。

絵コンテのようなものなど簡単にシーンや流れを違う紙に書きとめ、それを入れ替えたり直したりしてみる。『メディアリテラシーの道具箱』にもありましたが、次回メインとなるワークショップで生徒たちが実践してくれればと思います。

こぼれ話・修学旅行がなくて「大学見学宿泊」

きょうのワークショップは、猛暑の中だったので熱中症に注意しながら進めましたが、大学生と高校生たちの関係の構築、実際に撮ってまとめる、そして人のレポートを見るということでメニューはまずまずだったと思います。ただ、

人のレポートを見て「意見と感想を述べ合う」という部分が時間の関係で十分にできなかったのが心残りです。なかなか思惑どおりにはいかないですね。

帰りはちょうど良い電車の時間がなくなり、局のワゴン車で遠方の生徒を送るというはめになったのですが、それはそれで高校生たちといろいろな話しができて良かったです。

「ルーキーズ」と「チェンジ」は何人か見ていたものの、ドラマやバラエティ番組はあまり見ていない（知らない）こと、NHKを結構見ているという、真面目な富山県の高校生の実態を垣間見ました。ちなみに参加している高校生たちには「修学旅行」というものがなく、「大学見学」と称して東京大学や一橋大学、東京女子大など一流大学をそれぞれ選んで見学宿泊するのだそうです。（そこまでしなくても…と思いました）

今回は8月上旬、ワークショップの仕上げになる「農村での宣伝づくり」3日間連続ワークショップです。みなさん、どうぞよろしくお願いします。

(チューリップテレビ・実践チーム)